

単元名	ダンス(フォークダンス, 創作ダンス, 現代的なリズムのダンス)	配当時間	9 時間
単元の目標	(1) 感じを込めて踊ったり, みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい, ダンスの名称や用語, 踊りの特徴と表現の仕方, 交流や発表の仕方, 運動観察の方法, 体力の高め方などを理解するとともに, イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し, 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに, 互いに助け合い教え合ったり, 作品や発表などの話し合いに貢献したり, 一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしたり, 健康安全を確保したりしようとする。		

②フォークダンスと現代的なリズムのダンスの展開例

12300124_001

【準備等】CDラジカセ, CD, 学習資料, 学習カード, 鑑賞カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 1・2年生の学習を振り返り, 学習の見通しをもつ。 ★3年生のダンスのねらいを知ろう。 ○学習のねらいや進め方を知る。 ○学習カードや学習資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方を知る。 ○音楽のリズムに合わせてダンスウォームアップをする。	・イメージを深めた表現や踊りでの交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにする運動であることを知らせる。 ・感じたことを個性に応じて表現することになるので, 正しい鑑賞態度と, 恥ずかしがらずに全身を使って表現することが大切であることを知らせる。 ・曲を流し, 毎時間の授業の始めにウォーミングアップとして行わせる。
2～4 フォークダンスをする。 ★伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○既習のダンスを踊る。 <民謡> ・花笠音頭 ・春駒 ・炭坑節 ・鹿児島おはら節 <フォークダンス> ・オクラホマ・ミクサー ・バージニア・リール ・ドードレブスカ・ポルカ ○民謡やフォークダンスを大づかみに覚えて踊る。 <民謡> ・よさこい鳴子踊り ・越中おわら節 ・こまづくり唄 ・大漁唄い込み <フォークダンス> ・ヒンキー・ディンキー・パーリー・ブルー ・ハーモニカ ・オスローワルツ ・ラ・クカラーチャ ○グループごとに曲目を選択し, 工夫して踊る。 ○みんなで踊り, 交流をする。	・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 【評】ダンスを踊る姿を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・資料やVTRなどで踊りを紹介し, 日本や外国の風土や風習, 歴史などの踊りの由来を理解させる。 ・始めは, 民謡やフォークダンスそれぞれの曲調や踊りの特徴を感じ, 大づかみに覚えて踊るようにさせる。 ・グループで教え合いながら練習させる。 【評】フォークダンスを練習する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・仲間のよい動きや表現などを伝え合うよう指示する。 ・日本や外国の文化的な背景や情景を思い浮かべながら踊り, 交流させる。 【評】みんなで踊り, 交流する活動を通して, 「知識・技能」を評価する。
5～6 変化とまとまりを付けて自由に弾んで楽しく踊る。 ★リズムに乗って全身で踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○簡単なリズムの取り方や動きで踊る。 ○いろいろなビートで踊る。 ○活動を振り返り, まとめをする。	・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・音楽のリズムに同調して踊らせる。 ・体幹部を中心としたシンプルに弾む動きで踊らせる。 ・ロックでは, 全身でビートに合わせて弾むようにさせる。 ・ヒップホップでは, 膝の上下動に合わせて腕を動かしたりストップするようにしたりしながら踊らせる。 【評】踊る姿を通して, 「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】振り返りの活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。
7～8 変化とまとまりを付けて自分たちのダンスを創る。 ★ダンスを創って楽しく踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○動きに変化を付けて踊る。 ・全体練習	・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・リズムの取り方や動きの連動のさせ方を組み合わせて踊らせる。

・グループ練習

- 自分たちのダンスを創り，練習する。
 - ・簡単なリズム
 - ・軽快なロック
 - ・動きの変化
 - ・まとまり

9 交流会をする。

- ★楽しく踊って交流しよう。
 - ダンスウォームアップをする。
 - グループで練習する。

- 交流会をする。

- 感想を発表し合う。

- ・1グループ3～5人とする。
- ・リズムの特徴をとらえ，変化とまとまりをつけて踊るよう意識させる。

【評】踊る活動を通して，「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・選曲については，グループごとにさせてもよい。

- ・一人一人の能力を生かす動きや相手と対応する動きなどを取り入れながら，仲間とかかわりをもって踊ることに留意させる。

【評】ダンスを創る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

- ・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。

- ・自分たちで創った踊りをグループで確認する

【評】交流会を通して，「知識・技能」を評価する。

【評】感想を発表し合う活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【評】単元全体の活動や交流会で評価し合う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

- (1) ダンスは，「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成され，イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で，仲間とともに感じを込めて踊ったり，イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。ここでは，イメージを捉えたり深めたりする表現，伝承されてきた踊り，リズムに乗って全身で踊ることや，これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにする。

- (2) 標準的な展開例として，①フォークダンスと創作ダンス②フォークダンスと現代的なリズムのダンスの二つを示した。二つの展開例のうち，一つを選択して履修することを基本とする。

創作ダンスの表したいテーマと題材や動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.180参照

日本の民謡，外国のフォークダンスの曲目と動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.181参照

現代的なリズムのリズムと動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.182参照